

大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託 仕様書

1. 件 名 大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託
2. 履行期間 契約締結の日から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで
3. 対象施設 大和高田市勤労青少年ホーム（大和高田市大字野口地内）
昭和 51 年 3 月竣工、R C 造 2 階建て、延べ面積 1003.14 m²
4. 業務目的 当該施設の解体工事に伴い、使用された石綿含有建材を把握するため、外壁仕上塗材、内装材及び接着剤等に石綿（6 種類）が含有されている疑いがあると判断される建材について、分析調査を行うことを目的とする。

5. 適用・用語の定義

- （1）分析方法・石綿分析結果報告書は、厚生労働省が作成している「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第 2 版】令和 4 年 3 月」に準拠することとする。
- （2）本市の仕様書において、1 検体とは、1 種類の建材について分析することを指す。JIS A 1481-1 の場合は、1 種類の建材につき 3 箇所から採取した 3 つの試料を別々で分析調査した結果をまとめたものを 1 検体と数え、JIS A 1481-2 の場合は、1 種類の建材につき 3 箇所から採取した試料を 1 つにまとめて分析調査をした結果をまとめたものを 1 検体と数える。

6. 業務内容

（1）試料採取

- ア）当該施設の分析調査を行う建材の試料を現地に必要量採取する。検体数及び採取箇所は別紙「大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査検体一覧」のとおりとする。
- イ）具体的な試料採取位置については、試料採取前に市職員と協議の上、決定する。
- ウ）試料の採取は、脚立で届く範囲で行う想定である。
- エ）試料の採取に当たっては、「建築物石綿含有建材調査者」の資格を有したものを 1 名以上配置すること。
- オ）採取跡から石綿含有の可能性がある建材が飛散しないように、試料採取後の処理は、シーリング剤やパテ等での簡易補修を行う。今後施設を解体するため、完全復旧までは求めない。

（2）分析調査

- ア）採取した試料について、JIS A 1481-1 及び JIS A 1481-2 による定性分析を行う。これにより石綿の含有があった場合、定量分析は行わない。各検体の分析方法は別紙「大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査検体一覧」のとおりとする。
- イ）JIS A 1481-1 により分析する場合、仕上塗材及び床仕上材等の複層のものについては、表層から下地材（躯体の界面）まで採取した試料で層別分析を行い、石綿が含有している層について特定すること。
- ウ）JIS A 1481-1 については、公益社団法人日本作業環境測定協会の石綿分析技術評価事業の カテゴリー 1 の評価区分 1 及び 5 の合格認定技術者による分析調査を行うこととし、JIS A

1481-2 については、公益社団法人日本作業環境測定協会の石綿分析技術評価事業のカテゴリ
ー1 の評価区分2 の合格認定技術者による分析調査を行うこととする。

エ) JIS A 1481-2 による定性分析で分析することを指定している検体を JIS A 1481-1 による
定性分析で分析することは認める。ただし、上記（2）ア）～ウ）に従うこととする。

（3）結果報告・成果品

ア）「石綿分析結果報告書」を次のとおり提出する。

- a) A 4 判紙ファイル綴・・・・・・2 部
- b) 電子データ（CD-R）・・・・・・1 部

イ）上記の報告書（重複するものは省略可）には、次の内容が分かる資料等を添付すること。

- a) 調査箇所、調査対象建材及び石綿含有の有無
- b) 調査箇所が分かる写真
- c) 採取状況（採取前・採取中・採取後）
- d) JIS A 1481-1 で分析し、石綿の含有が確認された検体については、層構成が分かる断面
写真及び層別の分析結果
- e) その他報告事項、参考資料等

ウ）結果が分かり次第、速報値の報告を行うこと。

7. その他、特記事項

- （1）契約締結後速やかに、業務方針、試料採取箇所等について市職員と打合せを行うこと。採取
に先立ち、現地確認を行うことは可能とする。
- （2）採取日時については施設運営等に支障がないよう事前に協議すること。なお、採取日時は原
則として、12 月末までは休館日（火曜日・第4 月曜日）に行うものとし、閉館後（1 月以降）
は、平日に行うものとする。
- （3）作業従事者は、保護具等を装着するなど、石綿ばく露防止対策を徹底して作業すること。
- （4）交通費・その他経費については本業務に含むものとする。
- （5）分析後の試料は適法に処分すること。
- （6）作業に当たっては、来館者・職員等への安全確保に留意すること。
- （7）館内への立ち入りにおいては、社名が分かるよう腕章等を着用すること。
- （8）受託者は、業務の履行上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、他の目的に使用
してはならない。契約終了後も同様とする。
- （9）検体数に変更がある場合は、最終精算を行うものとする。また、仕様書等に定めのない事項
については、市職員と協議を行い、その指示に従うこと。

勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査検体一覧	建設年度	昭和50年度
------------------------	------	--------

番号	工事年度	部位		仕上げ	対象建材	備考
①	昭和50年度	外部	体育棟・教養棟	屋根	露出防水仕上	※コナシと各防水材
②	昭和50年度		体育棟・教養棟	笠木	防水モルタル	
③	昭和50年度		ブローン庫	外壁	アクリル系リシン吹付	リシン吹付(下地調整塗材共)
④	昭和50年度		体育棟	外壁	コンクリート打放し ラフトン吹付	ラフトン吹付(下地調整塗材共)
⑤	昭和50年度		教養棟	外壁	コンクリート打放し ラフトン吹付	ラフトン吹付(下地調整塗材共)
⑥	昭和50年度		体育棟・教養棟	カシ(外壁取合い部)	シーリング	
⑦	昭和50年度		体育棟・教養棟	カシ(ガラス止め)	シーリング	※カシ内部
⑧	昭和50年度		体育棟・教養棟	カシ(ガラス止め)	シーリング	※ガラス面から外側
⑨	昭和50年度	内部	体育棟(体育室)	床	モルタルコシ押え 下地 デコロン塗	デコロン塗(下地調整塗材共)
⑩	昭和50年度		体育棟	床	Pタイル貼	Pタイル(接着剤共)
⑪	昭和50年度		教養棟	床	Pタイル貼	Pタイル(接着剤共)
⑫	改修年度不明		教養棟(音楽室以外)	床	既設デプロン貼撤去の上 タイルカーペット敷き	接着剤 建設当初の接着剤と改修時の接着剤が混合している。
⑬	昭和50年度		教養棟	床	デプロン貼	接着剤 建設当初の接着剤のみ
⑭	改修年度不明		教養棟(音楽室)	床	既設デプロン貼撤去の上 タイルカーペット敷き	接着剤 建設当初の接着剤と改修時の接着剤が混合している。
⑮	昭和60年度		教養棟(娯楽談話室)	床(踏込)	既設撤去の上 クッションフロア貼	クッションフロア(接着剤共) 建設当初の接着剤と改修時の接着剤が混合している。
⑯	昭和50年度		教養棟(料理講習室)	床	長尺シート貼	長尺シート(接着剤共)
⑰	昭和50年度		教養棟(講習室)	床	長尺シート貼	長尺シート(接着剤共)
⑱	昭和50年度		体育棟	巾木	Pタイル巾木	Pタイル巾木(接着剤共)
⑲	昭和50年度		教養棟	巾木	Pタイル巾木	Pタイル巾木(接着剤共)
⑳	昭和50年度		体育棟・教養棟	壁	壁面タイル張付モルタル	モルタル(混和剤)
㉑	昭和50年度		教養棟(ドッグ室)	壁	モルタルコシ押え	モルタル(混和剤)
㉒	昭和50年度		体育棟(体育室)	壁	コンクリート打放し バースキン吹付 コシ押え	バースキン(下地調整塗材共)
㉓	昭和50年度		体育棟(更衣室・用具庫)	天井	コンクリート打放し バースキン吹付	バースキン(下地調整塗材共)
㉔	昭和50年度		体育棟	壁	コンクリート打放し ラフトン吹付	ラフトン吹付(下地調整塗材共)
㉕	昭和50年度		教養棟	壁	コンクリート打放し ラフトン吹付	ラフトン吹付(下地調整塗材共)
㉖	昭和60年度		教養棟(相談室・娯楽談話室)	壁	既設ジュコ吹付の上ジュコ吹付	ジュコ吹付(下地調整塗材共)
㉗	昭和50年度		教養棟(和室共通)	壁	ジュコ吹付	ジュコ吹付(下地調整塗材共)
㉘	改修年度不明		教養棟(集会室)	壁(北面)	既設ジュコ吹付の上ジュコ吹付	ジュコ吹付(下地調整塗材共)
㉙	昭和50年度		体育棟	天井	グラスタボード 貼	グラスタボード
㉚	昭和50年度		教養棟	壁・天井	グラスタボード 貼	グラスタボード
㉛	昭和50年度		体育棟	天井	岩綿吸音板貼	岩綿吸音板
㉜	昭和50年度		教養棟	天井	岩綿吸音板貼	岩綿吸音板
㉝	昭和50年度		教養棟(押入内湯沸室等)	天井	フレキシブルボード 貼	フレキシブルボード
㉞	昭和50年度		教養棟	天井(梁型)	ラフトン吹付	ラフトン吹付(下地調整塗材共)

JIS A 1481-1にて定性分析を行う。
JIS A 1481-2にて定性分析を行う。(※分析マニュアル第2版に準拠するのであれば、JIS A 1481-1で分析可)
◆全て定性分析までとし、定性分析で石綿有となった場合、石綿含有みなしとして取り扱う。
◆具体的な試料採取位置については、試料採取前に市職員と協議の上、決定する。

JIS A 1481-1 検体数	20	検体
JIS A 1481-2 検体数	14	検体
検体数合計	34	検体

分析方法は、厚生労働省が作成している「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】令和4年3月」に準拠することとする。よって、本市の仕様書において、1検体とは、1種類の建材について分析することを指す。JIS A 1481-1の場合は、1種類の建材につき3箇所から採取した3つの試料を別々で分析調査した結果をまとめたものを1検体と数え、JIS A 1481-2の場合は、1種類の建材につき3箇所から採取した試料を1つにまとめて分析調査をした結果をまとめたものを1検体と数える。

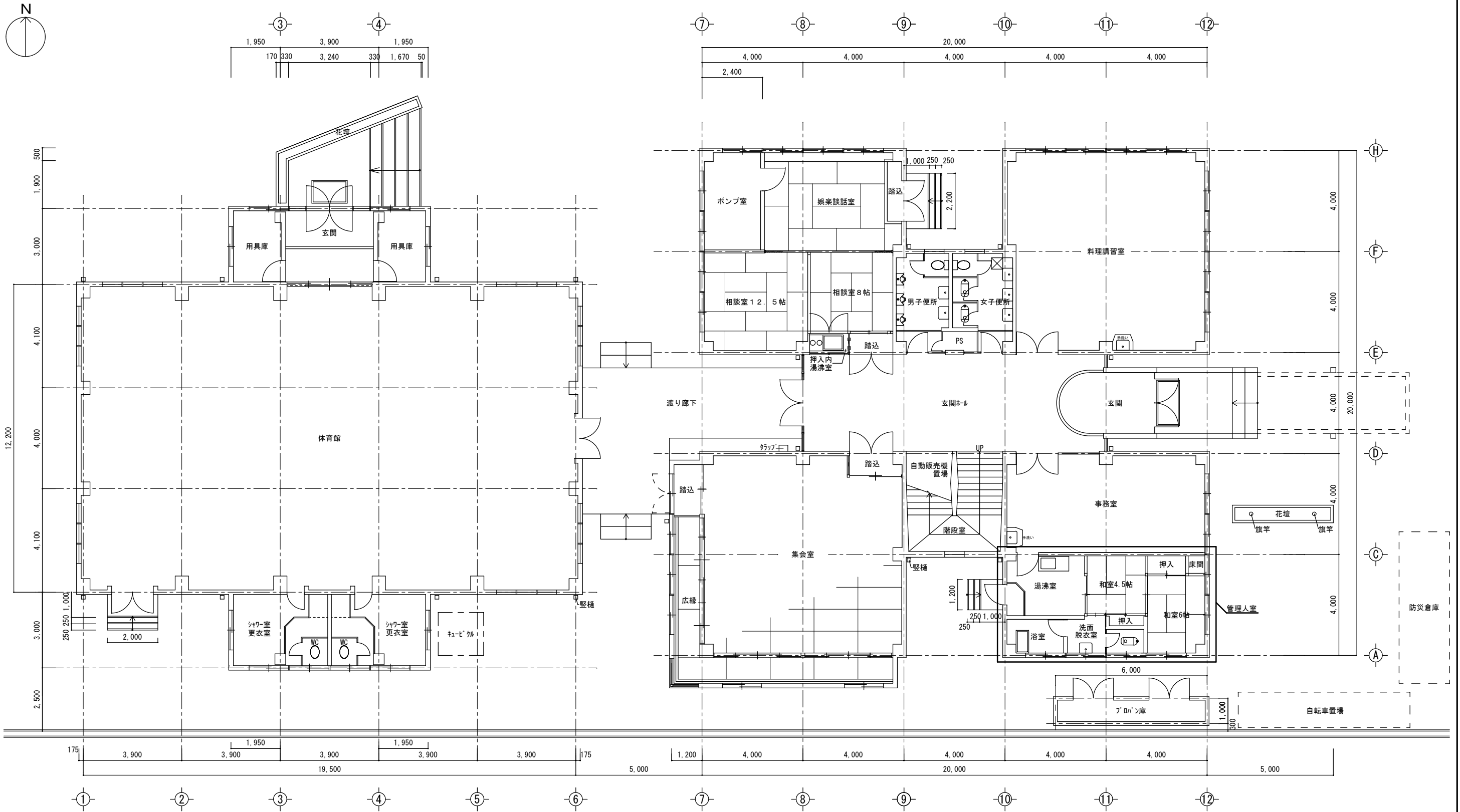
大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託		
◆石綿含有の可能性がある材には○を、主材ではなく接着剤や下地調整塗材に石綿含有の可能性があるものには◇を付けています。数字は、本業務で当該施設における検体番号を示します。		
◆定性分析のみ実施のため、分析調査結果により含有が認められる場合は、みなし扱いになります。		

外部仕上表							
体育棟	屋根		建設当初	三晃式A字瓦棒葺かへ鉄板　オリエタルタタムOM式モーター一部:露出防水仕上げ（西アSC-420）	○	①	
		平成8年度	現況	既設の上　ウレタン吹付　（鉄板部・露出防水部共）			KAWATA ジェットスプレー工法
	笠木		建設当初	防水モタル金ゴテ仕上げ	○	②	
		平成8年度	現況	既設の上　ウレタン吹付			KAWATA ジェットスプレー工法
	外壁及び巾木		建設当初	コンクリート打放し　ラフトン吹付	○◇	④	
		改修年度不明	現況	既設の上　クラック補修(シーリング＋塗装)			・平成8年度 ・DIY(平成28年度頃)
	玄関庇		建設当初	ボート立上り　ST焼付塗装t3			
		平成6年度	現況	体育館棟　玄関庇　取替			
	ボート床		建設当初	100角磁器タイル貼り			
教養棟	屋根		建設当初	露出防水仕上げ　（西アSC-420） シタコンクリートの上均しモタル、スラブ下スロー打込	○	①	シタコンクリートt=50～200 均しモタルt=20,スローt=25
		平成27年度	現況	北東一部：既設防水材撤去の上、防水			改修の際の防水の仕様は不明であるが、改修年から石綿無と判断
	笠木		建設当初	防水モタル金ゴテ仕上げ	○	②	
		昭和55年度		既設の上　エポキシ樹脂			
		改修年度不明	現況	既設の上　一部ウレタン塗膜防水仕上げ			
	外壁及び巾木		建設当初	コンクリート打放し　ラフトン吹付	○◇	⑤	
		改修年度不明	現況	既設の上　クラック補修(シーリング＋塗装)			・平成8年度 ・DIY(平成28年度頃)
	玄関庇		建設当初	三晃式円筒葺			面戸付き　板厚0.9mm
		昭和55年度		既設の上　両面錆止めOP2回塗り			
		平成6年度	現況	既設の上　錆止めOP2回塗り			
	庇(南西)		建設当初	コンクリート打放し　ラフトン吹付 天端：防水モタルコテ押え　ラフトン吹付	○◇ ○	⑤ ②	
		平成8年度	現況	既設の上　ウレタン吹付			KAWATA ジェットスプレー工法
	ボート床		建設当初	レンガタイル貼り			
渡り廊下	屋根		建設当初	三晃式円筒葺			面戸付き　板厚0.9mm
		昭和55年度		既設の上　両面錆止めOP2回塗り			
		平成6年度	現況	既設の上　錆止めOP2回塗り			
プロパン庫	屋根		建設当初	折版屋根			
	外壁		建設当初	コンクリートブロック化粧積　アクリル系リシン吹付	○◇	③	
	内壁		建設当初	コンクリートブロック素地			
共通	一般出入口　庇		建設当初	コンクリート打放し　ラフトン吹付 天端：防水モタルコテ押え　ラフトン吹付	○◇ ○	④⑤ ②	
	天井裏換気孔		建設当初	塩ビφ50　防虫網付VP			
	樋		建設当初	屋上：横引き露出防水型ルーフトレイン　コーキング塗布 縦樋スロー角パイプ　内部：コーキング塗布　外部：OP			
	その他		建設当初	鉄部：O.P　木部：クリアッカー仕上			
				サッシ・外壁取合い部：シーリング（オコール系）	○	⑥	
				サッシ・ガラス止め：シーリング（※サッシ内部）	○	⑦	
				サッシ・ガラス止め：シーリング（※ガラス面から外側）	○	⑧	

建設年度	昭和50(1975)年度
工期	昭和50年9月25日～昭和51年3月31日

内部仕上表																					
階数	部屋名	時期		床			巾木			腰			壁			天井			備考欄		
体育棟 1階	体育室		建設当初	モルタルコ押し下地　デコロン塗　t=5.0mm	○◇	⑨	Pタイル巾木	○◇	⑮	H=2,000フットン吹付　コンクリート打放し	○◇	㉔	コンクリート打放し　パースキン吹付　コ押し 一部モザイクタイル模様張貼(張り付けモタル)	○◇	㉔	屋根下：木毛版 t=25mm グラスボード' t=9.0mm EP吹付 鉄部：OP	○	—	※'グラスボード'体育棟玄関と同一の材と考える。高所であるため、分析調査の試料採取はしない。		
		昭和63年度	現況	既設の上　ユニットフロア　フローリング　ウレタン3回塗			※既設Pタイル巾木 存置			当初と同じ			当初と同じ			当初と同じ					
	玄関		建設当初	モルタルコ押し下地　デコロン塗　t=5.0mm 一部100角磁器タイル	○◇	⑨	フットン吹付 一部Pタイル巾木	○◇	㉔ ⑮				フットン吹付　コンクリート打放し　寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔			
	用具庫		建設当初	モルタル金コ押し			Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付　コンクリート打放し　寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	コンクリート打放し　パースキン吹付	○◇	㉔			
	更衣室		建設当初	Pタイル貼　一部磁器モザイクタイル張り	○◇	⑩	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付　寒冷紗貼り下地 一部半磁器100角タイル貼(張り付けモタル)	○◇ ○	㉔ ㉔	コンクリート打放し　パースキン吹付	○◇	㉔			
教養棟 1階	玄関		建設当初	タイル張			—						フットン吹付 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗下貼り	○ ◇	㉔ ㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔			
	玄関ホール		建設当初	デブロン貼	◇	⑫	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付　一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗下貼り	○ ◇	㉔ ㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔			
		改修年度不明	現況	既設撤去の上　タイルカーペット敷き ※既設接着剤存置	◇	⑫	当初と同じ						当初と同じ			当初と同じ					
	事務室		建設当初	デブロン貼 洗面部分：ボリコンモザイクタイル張り	◇	⑫	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付　一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗下貼り	○ ◇	㉔ ㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔			
		改修年度不明	現況	既設撤去の上　タイルカーペット敷き ※既設接着剤存置	◇	⑫	当初と同じ						当初と同じ			当初と同じ			S60受付窓改修歴あり		
	娯楽談話室		建設当初	デブロン貼	◇	⑬	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗下貼り	○ ◇	㉔ ㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm 梁型：フットン吹付	○ ○ ○◇	㉔ ㉔ ㉔			
		昭和60年度	現況	既設撤去の上　タタフォームt=100mm下地畳敷き　一部タタ線甲板 ※既設接着剤存置 踏込：既設撤去の上　クッションフロア貼　※既設接着剤存置	○◇	⑮	畳寄せ						既設の上ジュック吹付	○	㉔	当初と同じ					
	デンプ室		建設当初	モルタル金コ押し			モルタルコ押し	○	㉔				コンクリート打放し 東面：CB造壁の上　モルタルコ押し ジュック吹付(ジュラックス)　寒冷紗貼り下地	○ ○	㉔ ㉔	木毛版 t=25mm　打込 杉証合板敷目板張り					
	相談室　和室12.5帖		建設当初	畳敷き			畳寄せ						既設の上ジュック吹付	○	㉔	当初と同じ					
		昭和60年度	現況	当初と同じ			当初と同じ						既設の上ジュック吹付	○	㉔	当初と同じ					
	相談室　和室8帖 ※踏込含む		建設当初	畳敷き 踏込：デブロン貼	◇	⑫	畳寄せ						ジュック吹付(ジュラックス)　寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り					
		昭和60年度		当初と同じ 踏込：当初と同じ			当初と同じ						既設の上ジュック吹付	○	㉔	当初と同じ					
		改修年度不明	現況	当初と同じ 踏込：既設撤去の上　タイルカーペット敷き　※既設接着剤存置	◇	⑫	当初と同じ						上記と同じ			当初と同じ					
押入内湯沸室		建設当初	檜縁甲板			雑巾摺り			カータイル貼100角 H=1,500mm (張り付けモタル)	○	㉔	ジュック吹付(ジュラックス)　寒冷紗貼り下地	○	㉔	フレキシブルボード' t=4.0mm　VPu-ラー	○	㉔				
料理講習室		建設当初	長尺シート(ロリュール)貼 一部　モザイクタイル貼	○◇	⑮	Pタイル巾木	○◇	⑮	一部　洗面バック　100角タイル貼 (張り付けモタル)	○	㉔	フットン吹付　一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗貼り下地	○ ◇	㉔ ㉔	アスベストラックス t=9.0mm　底目貼り 梁型：フットン吹付	○ ○◇	— ㉔	アスベストラックス：石綿含有みなし			
集会室		建設当初	畳敷き 踏込：デブロン貼 外部出入口：モルタルコ押し	◇	⑫	畳寄せ						ジュック吹付(ジュラックス) コンクリート打放し　寒冷紗貼り下地	○ ○	㉔ ㉔	杉証合板敷目板張り 梁型：フットン吹付	○◇	㉔				
	改修年度不明	現況	当初と同じ 踏込：既設撤去の上　タイルカーペット敷き　※既設接着剤存置 外部出入口：当初と同じ	◇	⑫	当初と同じ						当初と同じ 北面一部：既設の上ジュック吹付	○	㉔	当初と同じ						
自動販売機置場		建設当初	デブロン貼	◇	⑫	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗貼り下地	○ ◇	㉔ ㉔	段裏：フットン吹付	○◇	㉔				
	改修年度不明	現況	既設撤去の上　タイルカーペット敷き ※既設接着剤存置	◇	⑫	当初と同じ						当初と同じ			当初と同じ						
管理人室　湯沸室		建設当初	Pタイル貼	○◇	⑪	Pタイル巾木	○◇	⑮				フットン吹付　一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗貼り下地	○ ◇	㉔ ㉔	アスベストラックス t=9.0mm　底目貼り	○	—	アスベストラックス：石綿含有みなし			
管理人室　和室6帖・4.5帖		建設当初	畳敷き			畳寄せ						ジュック吹付(ジュラックス)　寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り						
管理人室　押入(共通)		建設当初	ワゴンベニヤ張り t=5.5mm			雑巾摺り						ワゴンベニヤ張り t=4.0mm			ワゴンベニヤ張り t=4.0mm						
管理人室　床間		建設当初	うすべり敷き			畳寄せ						ジュック吹付(ジュラックス) コンクリート打放し　寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り						
管理人室　洗面・脱衣室		建設当初	Pタイル貼	○◇	⑪	Pタイル巾木	○◇	⑮	タイル張り(張り付けモタル) 一部フットン吹付	○ ○◇	㉔ ㉔	フットン吹付 コンクリート打放し　下地処理の上　寒冷紗貼り下地	○ ◇	㉔ ㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔				
管理人室　浴室		建設当初	ボリコンモザイクタイル貼			—						半磁器100角タイル貼り (張り付けモタル)	○	㉔	フレキシブルボード' t=4.0mm　VP	○	㉔	天井水切　銅板樋			
管理人室　便所		建設当初	磁器モザイクタイル貼　※防水層ありと想定 一部Pタイル貼り	○ ○◇	— ⑪	—						半磁器100角タイル貼り (張り付けモタル)	○	㉔	グラスボード' t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔	屋内防水：西日本アスファルト防水(ID-400)			
便所		建設当初	磁器モザイクタイル貼　※防水層ありと想定 踏込：デブロン貼	○ ◇	— ⑫	—						半磁器100角タイル貼り (張り付けモタル)	○	㉔	アスベストラックス t=9.0mm　底目貼り	○	—	アスベストラックス：石綿含有みなし スクリン木品ベニヤフラッシュOP　框：テラゾプロック			
	改修年度不明	現況	当初と同じ 踏込：既設撤去の上　タイルカーペット敷き　※既設接着剤存置	◇	⑫	—						当初と同じ			当初と同じ			屋内防水：西日本アスファルト防水(ID-400)			

教養棟 2階	ホール		建設当初	デブロン貼	◇	⑬	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し 寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○	㉔	アクリル樹脂内コンクリート上 スプリットサン	
	講習室		建設当初	長尺シート(ポリウレタン)貼	○◇	⑰	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し 寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○	㉔	スライディングドア：両面ビニールクロス貼り	
		改修年度不明	現況	当初と同じ			当初と同じ						当初と同じ 一部DIY塗装痕あり			当初と同じ				
	図書室		建設当初	デブロン貼	◇	⑬	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し 寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○	㉔		
	音楽室		建設当初	デブロン貼	◇	⑭	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 一部スチールフラッシュOP塗 コンクリート打放し 寒冷紗貼り下地	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○	㉔		
		改修年度不明	現況	既設撤去の上 タイルベット敷き ※既設接着剤存置	◇	⑭	当初と同じ						当初と同じ 一部DIY塗装痕あり			当初と同じ				
	和室踏込		建設当初	デブロン貼	◇	⑬	Pタイル巾木	○◇	⑭				ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り				
	和室3帖		建設当初	畳敷き			畳寄せ						ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り				
	押入内湯沸室		建設当初	檜縁甲板			雑巾摺り						ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地 一部石膏ボード 下地	○ ○	㉔ ㉔	フレキシブルボード t=4.0mm VP	○	㉔		
	教養室 和室14帖		建設当初	畳敷き			畳寄せ						ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地 一部石膏ボード 下地	○ ○	㉔ ㉔	杉証合板敷目板張り			炉内部：銅板張り(レンガ下)	
	教養室 床間		建設当初	うすべり敷き			畳寄せ						ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り				
	教養室 広縁		建設当初	檜縁甲板			雑巾摺り						ジュウク吹付(ジュウラックス) 寒冷紗貼り下地	○	㉔	杉証合板敷目板張り				
	押入(共通)		建設当初	ワゴンベニヤ張り t=5.5mm			雑巾摺り						ワゴンベニヤ張り t=4.0mm			ワゴンベニヤ張り t=4.0mm				
	備品倉庫		建設当初	Pタイル貼り	○◇	⑪	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 寒冷紗貼り	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 VP用シーラー	○	㉔		
	便所		建設当初	磁器タイル貼 *防水層ありと想定 踏込：デブロン貼	○ ◇	ー ⑬	ー						半磁器100角タイル貼り(張り付けモザイク)	○	㉔	アスベストラックス t=9.0mm 底目貼り	○	ー	アスベストラックス：石綿含有みなし スクリーン木品ベニヤフラッシュOP 框：テーパーロック 屋内防水：西日本アスファルト防水(ID-400)	
	階段室		建設当初	デブロン貼	◇	⑬	Pタイル巾木	○◇	⑭				フロン吹付 寒冷紗貼り	○◇	㉔	プラスチックボード t=9.0mmの上 岩綿吸音板 t=12mm	○ ○	㉔ ㉔		



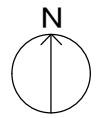
1階平面図 1/150

工事名	大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託				
図面名	1階平面図	縮尺	1/150	図番	1
		【A3原本】		3	の内
当初設計年月日	令和 7 年 10 月 23 日	最終設計年月日	令和 年 月 日		



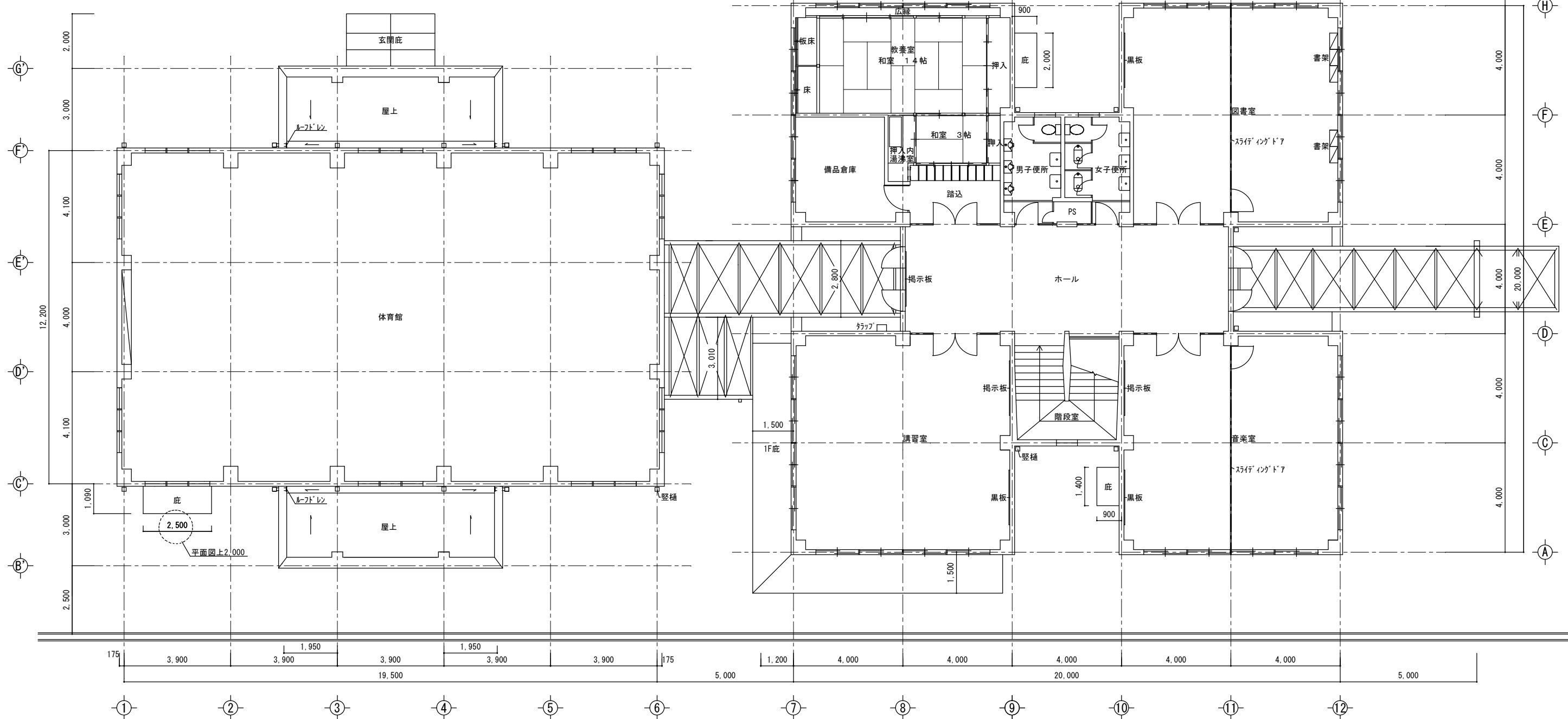
大和高田市

環境建設部 営繕課



7 8 9 10 11 12

4,000 4,000 4,000 4,000 4,000



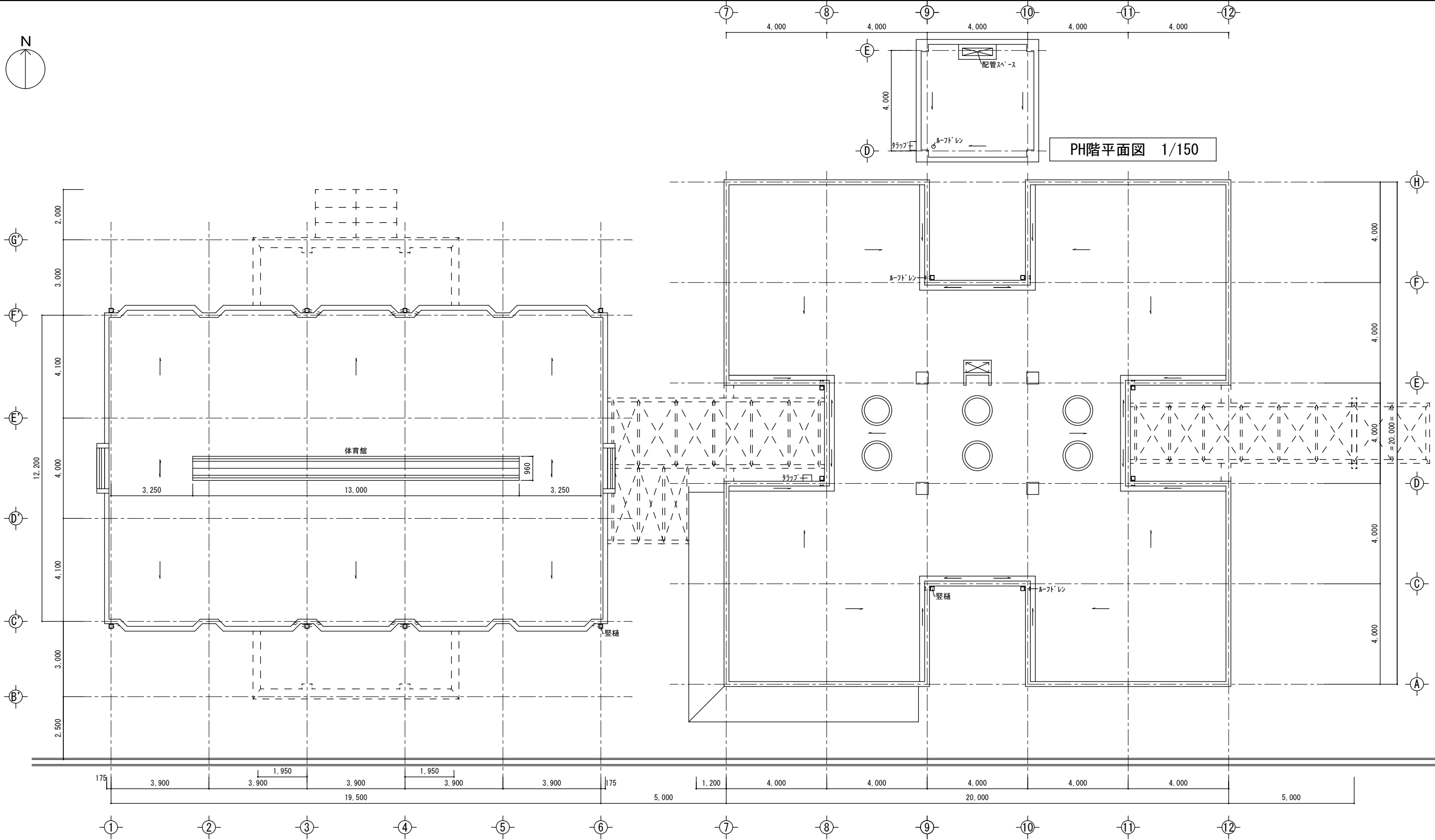
2階平面図 1/150

工事名	大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託				
図面名	2階平面図	縮尺	1/150	図番	2
			【A3原本】		3 の内
当初設計年月日	令和 7 年 10 月 23 日	最終設計年月日	令和 年 月 日		



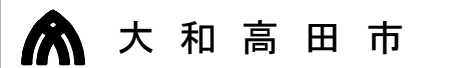
大和高田市

環境建設部 営繕課



R階屋根伏図 1/150

工事名	大和高田市勤労青少年ホーム石綿含有建材分析調査業務委託					
図面名	R階屋根伏図／PH階平面図			縮尺	1/150 【A3原本】	図番
						3 の内の3
当初設計年月日	令和 7年 10月 23日		最終設計年月日	令和 年 月 日		



大和高田市

環境建設部 営繕課